

## 安全データシート

### 【製造者情報】

会社名：丸昌産業株式会社  
住所：栃木県佐野市田島町171  
部署：新規開発事業部  
電話番号：0283-22-1955  
緊急連絡先：0283-22-1901  
制定：2021年6月7日  
改定：2023年6月28日

【製品名】セルフェイスコート WG-R1 (EtOH) - エタノールタイプ

### 【危険有害性の要約】

#### GHS 分類

|            |                   |        |
|------------|-------------------|--------|
| 物理化学的危険性：  | 引火性液体             | 区分2    |
|            | 自然発火性液体           | 区分外    |
|            | 自己発熱性化学品          | 区分外    |
|            | 金属腐食性物質           | 区分外    |
| 健康に対する有害性： | 急性毒性（経口）          | 区分外    |
|            | 急性毒性（経皮）          | 分類できない |
|            | 急性毒性（吸引：蒸気）       | 区分外    |
|            | 皮膚腐食性・刺激性         | 区分外    |
|            | 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性   | 区分2B   |
|            | 生殖細胞変異原性          | 分類できない |
|            | 発がん性              | 分類できない |
|            | 生殖毒性              | 区分1A   |
|            | 特定標的臓器/全身毒性（単回暴露） | 区分3    |
|            | 特定標的臓器・全身毒性（反復暴露） | 区分1    |
| 吸引性呼吸器有害性  | 区分外               |        |
| 環境に対する有害性： | 水生環境急性有害性         | 区分外    |
|            | 水生環境慢性有害性         | 区分外    |

※記載なき項目は「分類対象外」または「分類できない」。

#### ラベル要素

絵表示またはシンボル：

注意喚起語： 危険



危険有害性情報： 引火性の高い液体及び蒸気  
 眼刺激  
 遺伝性疾患のおそれ  
 眠気またはめまいのおそれ  
 長期または反復暴露による呼吸器、神経性の障害おそれ  
 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

【組成および成分情報】

| 化学名      | 含有 wt%  | 化学式                             | CAS       | 化審法   | 安衛法 |
|----------|---------|---------------------------------|-----------|-------|-----|
| エタノール    | 75 - 80 | C <sub>2</sub> H <sub>6</sub> O | 64-17-5   | 2-202 | 公表  |
| イソプロパノール | 3 - 8   | C <sub>3</sub> H <sub>8</sub> O | 67-63-0   | 2-207 | 公表  |
| 二酸化ケイ素   | 1 - 2   | SiO <sub>2</sub>                | 7631-86-9 | 1-548 | 公表  |

【危険有害性の分類】

分類の名称： 分類基準に該当しない  
 外観など： 微白色液体  
 火災・引火性： 引火性液体

【応急処置】

吸入した場合： 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。  
 呼吸停止または呼吸が弱い場合は人工呼吸をする。  
 (衣類を緩めて気道を確保する)

皮膚に触れた場合： 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。  
 多量の水または石鹼水で十分に洗い落す。  
 高温の液体が付着した場合には、清浄な流水で患部を冷やす  
 皮膚に刺激があれば医師の診断および手当を受ける。

目に入った場合： 清浄な流水で、眼球・まぶたの隅々まで 15 分以上洗浄する。  
 コンタクトレンズは固着していない限り取り外して目を洗浄する。

飲み込んだ場合： 水で良く口の中を濯ぐ。  
 吐き出させないで、直ちに医師の診断・手当を受ける。  
 意識がない被災者には、口から何も与えてはならない。

急性症状及び遅発性症状： 吸入： めまい、頭痛、灼熱感、腹痛、吐き気  
 皮膚： 皮膚の乾燥、発赤  
 眼： 眼の発赤、痛み

### 【火災時の処置】

|               |   |
|---------------|---|
| 消火剤：          | 小火災：粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂<br>大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性消火剤                                 |
| 使用してはいけない消火剤： | 水（棒状水）の使用は火災を拡大させ危険な場合がある。  |
| 特有の消化方法：      | 消化作業は風上から行う。  |
| 消化を行う者の保護：    | 消化作業には適切な保護具（防火服、防災面、自給式呼吸器等）を着用する。   |
| 火災周辺の処置：      | 火災周辺および風下は関係者立ち入り禁止処置を取る。<br>周囲の可燃物および設備に散水して冷却する。<br>移動可能な可燃物は安全な場所へ移動させる。 |

### 【漏出時の処置】

|              |  |
|--------------|--|
| 人体に対する注意事項：  | 漏えい物に素手で触れたり、その中を歩いたりしない。  |
| 保護具及び緊急時処置：  | 作業は風上から行う。<br>風上の人を避難させて、漏出場所から人を遠ざける。<br>ロープ等で立ち入り禁止範囲を定めて表示する。<br>作業に適切な保護具(有機溶剤マスク、手袋、ゴーグル等)を着用する。              |
| 環境に対する注意事項：  | 側溝、下水、河川に流出しないように注意する。   |
| 回収・中和：少量の場合： | 乾燥土、砂、不燃材料で吸収し密閉できる容器に回収して、廃棄処理を行う。  |
| 大量の場合：       | 盛土やで困って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。<br>散水を行い、揮発蒸気濃度を低下させる。<br>密閉された場所では、燃焼を抑えることができない場合がある。<br>水上に流出した場合には、吸着材を使用して回収を行う。 |
| 封じ込め及び浄化の方法： | 危険でない場合には漏れを止める。   |
| 基材：          | 漏出物を取扱うとき用いるすべての設備は接地をする。<br>蒸気抑制泡は、蒸気濃度を低下させるために用いる。<br>吸収したものを集めるとき、きれいな帯電防止器具を用いる。                              |
| 二次災害の防止策：    | すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花等火気厳禁）<br>排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ   |

### 【取扱い及び保管上の注意】

|        |   |
|--------|---|
| 技術的対策： | 裸火禁止、火花禁止、禁煙、強力な酸化剤との接触禁止<br>ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。<br>炎、高温体との接触を避ける。<br>静電気対策を行い、作業服、靴なども導電性のものを着用する。<br>防毒マスク、ゴーグル、化学薬品用手袋を薬用の上、取扱いを行う。 |
| 換気：    | 取扱い場所は、局所換気及び全体換気を行う。<br>揮発ガスは、空気より重いため床に沿って移動することから床面を換気する。  |

- 安全取扱注意事項： 全ての安全注意事項を読み、理解するまでは取扱いを行わないようにする。  
周辺及び室内の別室での火気使用を禁止する。  
容器の転倒及び落下、衝撃対策を行い、容器破損に十分に注意を払う。  
当製品を使用中に飲食および喫煙は行わない。  
取扱い後は、手をよく洗う。
- 接触回避： 炎、火花等の火気及び高温体との接触を避ける。
- 保管： 容器を密閉して冷暗所に保管する。

---

【暴露防止処置】 エタノールとしての対策

- 管理濃度：  
日本産衛学会 設定されていない  
ACGIH TLV-TWA 1000ppm
- 設備対策： 取り扱う前に、洗眼や洗浄できる水道、シャワーの位置を確認  
その位置までのルートの確保
- 保護具：  
保護マスク：有機溶剤用ガスマスク  
保護眼鏡：側板付き普通メガネ及びゴーグル  
保護手袋：ポリエチレン手袋  
服装：長袖、長ズボン
- 衛生対策： 取扱い後、手洗いをを行う。

---

【物理的及び化学的性質】 エタノール

- 物理的状態、形状、色など： 微白色液体
- 臭い： 刺すような臭い
- 融点・凝固点： -114.1℃（融点）
- 沸点、初留点及び沸騰範囲： 78.3℃（沸点）
- 引火点： 14℃（密閉式）
- 爆発範囲： 下限 4.3vol%、上限 19.0vol%
- 蒸気圧： 59hPa(20℃)
- 蒸気密度（空気 = 1）： 1.59
- 比重（密度）： 0.79（20℃）
- 溶解度： 1000g/L（水）
- 粘度： 3~10mPa・s（20℃）

---

【安定性及び反応性】

- 安定性： 通常の条件においては、安定である。
- 危険有害反応可能性： 高温加熱時、可燃性ガスが発生する
- 避けるべき条件： 高温
- 危険有害な分解生成物： 火災時の燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などの有害ガスが発生する。
-

【有害性情報】

エタノール

急性毒性： 経口 ヒト 幼児 TDLo: 11712  $\mu$ L/kg (RTECS)  
経口 ヒト 男性 TDLo: 0.8 g/kg (RTECS)  
経口 ラット LD50: 7060 mg/kg (RTECS)  
吸入 ラット LC50: 20000 ppm/10 時間 (RTECS)  
経口 マウス LC50: 3450 mg/kg (RTECS)  
皮膚 ウサギ LDLo: 20 g/kg (RTECS)

シリカ (ゲルとして)

急性毒性： 経口 ラット LD50 > 15000mg/kg  
経皮 ラット LD50 > 5000mg/kg  
吸入 ラット LC50 = 0.55mg/l/4H

皮膚腐食性・刺激性：

エタノール、シリカー区分外

エタノールは、OECD TG404 および American guidelines に従った試験により、刺激性でないとの記載がある。

眼に対する損傷・眼刺激性：

エタノールー眼に対して刺激性がある (区分 2B)

ウサギを用いた Draize 試験において中等度の刺激性と評価され、適用後 1~3 日目に角膜混濁、虹彩炎、結膜発赤、結膜浮腫が認められ、MMAS (Modified Maximum Average Score: A01 に相当) が 24.0、かつ 7 日以内に症状がほぼ回復していることから区分 2B とした。

シリカー区分外

呼吸器感受性：呼吸器感受性：データ不足のため分類できない

皮膚感受性：

エタノール - データ不足のため分類できない

シリカー区分外

生殖細胞変異原性：

エタノールー分類できない

in vivo、in vitro の陰性結果あるいは陰性評価がされており、分類ガイダンスの改訂により「区分外」が選択できないため、「分類できない」とした。

シリカー区分外

発がん性：

エタノールーデータ不足のため分類できない

ACGIH はエタノールを A3 に分類しており区分 2 相当であるが、この評価に用いたデータは、ラット雌雄を用いた飲水による生涯試験であり、ヒトでの飲酒を想定して高用量 (10% 濃度) で実施されている。より低用量 (1% または 3% 濃度) のラット雌雄を用いた液体飼料による 2 年間試験においては明確な発がん性が示されていない。

シリカー区分外

IARC ではシリカゲルをグループ 3 (ヒトに対して発がん性については分類できない) に分類されている。

生殖毒性：

エタノール - 生殖能または胎児への悪影響のおそれ (区分 1A)

アルコールの習慣的な大量摂取によりヒト胎児に対する奇形その他の悪影響が多数報告

されている。

シリカー区分外

1 郡 20 匹の雌雄ラットに二酸化ケイ素を 1 日 500mg/kg ずつ混飼投与で 6 か月与え、4 ヶ月半後に 5 匹の雌を交配させたところ、生殖行動、胎仔数、新生仔体重やその後の形態の発達に異常は見られなかった。

特定標的臓器・全身毒性

(単回ばく露) :

エタノール - 呼吸器への刺激のおそれ・眠気またはめまいのおそれ (区分 3)

ヒトでエタノールの経口摂取により中枢神経系に影響を与え、頭痛、疲労、集中力を低下させ、急性中毒の場合は死に至ることがあると記載、および人で 5000ppm (9.4mg/L) の吸入により気道刺激性、昏迷、病的睡眠を起こすとの記載がある。

シリカ - 呼吸器への刺激のおそれ (区分 3)

吸入すると気道が刺激される。

特定標的臓器・全身毒性

(反復ばく露) :

エタノール - 長期または反復暴露による肝臓の障害 (区分 1)

長期または反復暴露による中枢神経系の障害のおそれ (区分 2)

ヒトでアルコールの長期大量摂取によりほとんど全ての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える標的臓器は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と繊維化を経て肝硬変に至ると記載に基づき区分 1 (肝臓) とした。

シリカ - 長期または反復暴露による肺：吸入の障害 (区分 1)

長期職業暴露により、塵肺症、けい肺症、線維症を生ずることがある。

吸引力呼吸器有害性 :

データ不足のため分類できない (区分外)

---

【環境影響情報】

|             |   |
|-------------|---|
| 水生環境急性有害性 : | 魚類 : 区分外<br>甲殻類 (オオミジンコ) LC50=5463.9mg/1/48H    |
| 水生環境慢性有害性 : | 魚類 : 区分外  |
| 残留性/分解性 :   | エタノール - 微生物などによる分解性が良好と判断される物質である。<br>シリカ-データなし |

---

【廃棄上の注意】

|            |  |
|------------|--|
| 残余廃棄物 :    | 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。<br>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。<br>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 |
| 汚染容器及び包装 : | 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。<br>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。   |

---

【輸送上の注意】

国際規制

海上規制情報 IMOの規定に従う。

UN No. : 1170

Proper Shipping Name : ETHANOL

Class : 3

Packing Group : II

Marine Pollutant : Not applicable

航空規制情報 ICAO/IATAの規定に従う。

UN No. : 1170

Proper Shipping Name : ETHANOL

Class : 3

Packing Group : II

国内規制

陸上規制情報 消防法の規定に従う。

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。

国連番号 : 1170

品名 : ETHANOL

クラス : 3

容器等級 : II

海洋汚染物質 : 該当しない

航空規制情報 航空法の規定に従う。

国連番号 : 1170

品名 : エタノール

クラス : 3

等級 : II

特別の安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。

危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。

危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。

【適用法令】

|          |   |
|----------|---|
| 労働安全衛生法： | 名称等を通知すべき有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）<br>エタノールー（政令番号 第61号）<br>シリカー（政令番号 第312号）<br>名称等を表示すべき有害物（施行令第18条） |
| 消防法：     | 第4類引火性液体、アルコール類   |
| 船舶安全法：   | 引火性液体類（危規則第2，3条危険物告示別表第1）   |
| 航空法：     | 引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）   |

---

【その他】

記載内容のうち、全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容が変更を生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめることをおすすめします。尚、含有量、物理化学特性などの値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取り扱いとしたものなので、特殊な取り扱いにはこの点のご配慮をお願いします。また、危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので取り扱いには十分注意してください。